

広島市教育センター所報

No 1
昭和54年4月

広島市教育センター
広島市牛田新町一丁目17番1号
〒730 電話(0822)23-3563

広島市教育センター
広島市教育センター

所報の発刊にあたって

広島市教育センター所長 久保田 尚

広島市教育センターは、国際平和文化都市広島にふさわしい教育を創造し、広島市の教育の発展向上を図るために、閑静な牛田神田山に設置されております。

昭和53年1月9日建設に着手し、同年10月1日第一期工事の完成とともに開所し、じ来鋭意事業の推進に努めているところであります。目下、これに合わせて、昭和55年を目途に進んでいる政令指定都市への移行とともに第二期の建設を行う準備もすすめております。これが完成すれば、より高度な機能を発揮できる総合的な研究・研修の教育機関として、充実した事業が計画できるものと信じております。

“教育は人であり”教育の実質を決定する最大の要素は、教育関係職員の資質であります。教育の質的な充実、教育に携わる者自らの資質の向上に期待する以外に道はありません。21世紀に生きる創造性豊かな人間を育て上げるために、現代は、教育関係職員ひとりひとりの優れた資質、指導力を必要としています。

当教育センターでは、この要望に応えるために、

- 教育に関する専門的、技術的な研究
 - 学校教育・社会教育関係職員の研修
 - 図書・資料の整備、活用
- に関する具体的な事業を行っております。

教育は、家庭教育・学校教育・社会教育にとわたる生涯を通しての営みでありますから、この道に携わる関係者は、自らの道を求めるための研究と自らの視野を広げるための研修とを、常に一体的なものとして追い求めなければなりません。

教育関係職員にとって研修は生命であり、研修に恣意や怠慢が許されるものではありません。「進みつつある教師のみに人を教える権利がある」といいます。たゆむことのない研究・研修によって教育関係職員としての内実を高め、高い自律性と専門的力量を身につけたいものです。

すべて研修は、最終的には自己研修であり、自己自身の在り方を求めての精進は、教育専門職としての自己の啓発であります。また、精進の成果を生かす実践の場のあることは、教育に携わる者の喜びでもあり、この喜びは教育の道に生きる者としての生き甲斐として自己自身に返ってくるものでもあります。

広島市教育センターは、同じ道を歩む同行者として、お互いがともに学びあい、ともに教えあう共通の場であるとともに、豊かな人間関係を醸成する場となることを念じ、努力してまいります。

教育関係職員ひとりひとりの積極的な参加を期待いたします。

広島市教育センター条例

(目的及び設置)

第1条 教育の向上を図るため、広島市教育センター（以下「教育センター」という。）を設置する。

(位置)

第2条 教育センターは広島市牛田新町一丁目17番1号に置く。

(事業)

第3条 教育センターは、第1条の目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

- (1) 教育に関する専門的、技術的事項の研究に関すること。
- (2) 教育関係職員の研修に関すること。
- (3) 教育関係資料の収集、作成及び活用に関すること。

(職員)

第4条 教育センターに、所長その他必要な職員を置く。

(委任規定)

第5条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和53年10月1日から施行する。

広島市教育センター条例施行規則

(趣 旨)

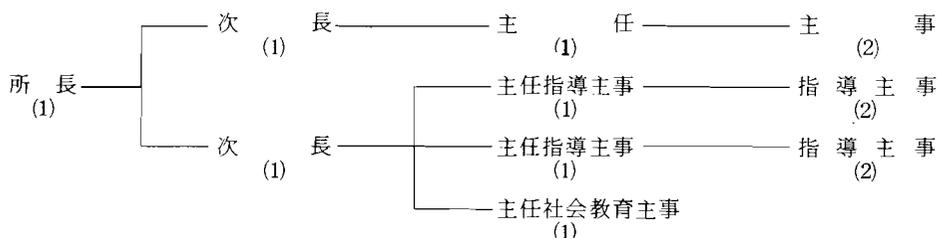
第1条 この規則は、広島市教育センター（以下「教育センター」という。）の管理運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(職員)

第2条 教育センターに所長、次長、主任指導主事、主任社会教育主事、主任、指導主事その他必要な職員を置く。

第3条 (以下省略)

組 織 機 構



教育研究事業について

教育センターは、学校教育、社会教育及び地域の特色と深くかかわりながら、その活動を展開していかねばなりません。そして、その事業は、教育関係職員の資質の向上に重点がおかれますが、これをささえるものとして研究事業及び教育情報・図書資料等の収集や提供の事業を組織的に行っていくこととなります。

広島市が必要とする教育研究と研修活動は、“広島”を中心にすえて計画される必要があります。広島市教育センターは、広島市の教育課題研究のために、本年度は、次の二つの研究を推進していきます。

国際平和文化都市としての広島の平和教育について — 広島市は、将来の望ましい都市像として国際平和文化都市をかかげ、真に平和な都市の実現をめざしています。原爆の惨禍を体験した広島市民が、わがまち広島の復興、建設にあたって一貫して目標としてきたことは、人間の共存と尊厳を確保し、世界恒久平和を実現するいしずえを築くことでした。広島市の教育の創造、発展に努める教育関係職員として、この都市づくりの理念を受け継ぎ、さらに発展させ、次の世代へ継承していく必要があります。真の平和を実現する努力を、学校教育も社会教育もひとしく続けなければなりません。平和教育の発展を図るための研究は、広島市教育研究の基本的課題として、着実に推進していきます。

当面する教育課題解明のための教育実践基盤の確立 — 今日、教育への期待はきわめて大きくなっておりまゝです。ある全国的な幼児教育実態調査は、5歳児の90%が幼稚園か保育所に通っているといひます。また高校進学率は、全国で93%を越え、本県では97%に達しているといひます。そして、人間形成は生涯的課題として認

識され、市民性を基盤にしての生涯学習の努力がたゆみなく行われております。このような現状に即した教育はどうあればよいかについて、教育の原点から学校教育、社会教育及び家庭教育をとらえ、構成していく主体的な営みが必要となっております。学校教育、とりわけ広島市の学校教育においては、広い国際的視野と豊かな創造力をもった、平和な社会の実現に貢献できる市民の人格を完成させる基礎を培うことが、その未来の目的でなければなりません。家庭教育は、親と子のふれあいをとおして行われる教育であり、人間形成に大きな影響を与えます。今日の社会変容のめまぐるしさは、家庭環境に著しい変化を及ぼし、家庭教育に対する親の自信をゆるがしつづつあります。そして、人は、その成長段階に応じて多くの学習課題をもっています。それらの課題に対応していくには、家庭や学校という制約された環境の中の教育だけではどうしても不十分です。社会教育は、市民一人ひとりが、人生の各時期を通じて学習課題にすすんでとりくみ、豊かな人間形成をしていくという活発な発展の企図と努力に機能するところにその目的があります。児童生徒たちを含めての市民が、生きがいのある充実した日常生活を営んでいくうえに、教育はどのようなはたらきをしていけばよいかについて、特に学校教育と社会教育が連携をとりながら教育実践をしていくための研究を推進していきます。

広島市教育センターでは、教育という人間をはぐくむ活動は、何によって行われるものであるかを常に問いながら、教育研究は、教育目的の実現への道を着実にきり開くものとの認識にたち、研究条件等も一段階ずつ整備しながらこの事業を進めていく計画です。

昭和54年度 広島市教育センター研究・研修講座一覧

講座番号	講座名	内 容	実施期日	対 象 者
1	小学校学級経営講座	学級経営の基本的なあり方と経営上の諸問題	7/23～7/24	小学校教職経験2年未満教員
2	中学校学級経営講座	学級経営の基本的なあり方と経営上の諸問題	7/26～7/27	中学校教職経験2年未満教員
3	小学校学習指導講座	学習指導の原理、方法並びに学習評価	8/20～8/21	小学校教員
4	小学校生徒指導講座	児童理解の理論と実際	7/26～7/27	〃
5	中・高等学校 生徒指導講座	カウンセリングの理論と実際、問題事例の研究	7/30～7/31	中・高等学校教員
6	特殊教育講座	障害に応じた指導法の理論と実際	8/1～8/2	小・中学校特殊学級担当者、希望者
7	幼稚園教育講座	基本的な諸問題に即応した保育のあり方	10/22	幼稚園教員
8	学校同和教育講座	学校における同和教育推進上の基本的課題	8/22～8/23	小・中・高等学校幼稚園教員
9	教職員教養講座 1	現代社会と国際理解教育	6/5	小・中・高等学校幼稚園教員
10	〃 2	日本の教育を考える	9/10	〃
11	〃 3	今日における環境問題と学校教育	11/6	〃
12	社会教育研修講座 1	社会教育のめざすもの	5/10	社会教育関係職員
13	〃 2	教育統計と評価	6/14	〃
14	〃 3	事業の計画と位置づけ	9/28	〃
15	〃 4	学校教育と社会教育の接点	11/12	小・中・高等学校及び幼稚園管理職
16	〃 5	施設の個人利用と相談	12/10	社会教育関係職員
17	中学校教科指導 国語科講座	国語科の基本的事項の究明	8/1～8/2	中学校担当教員
18	中学校教科指導 社会科講座	中学校社会科学習における能力育成	8/1～8/2	〃
19	中学校教科指導 数学科講座	数学科における基本的課題と指導法の改善	8/1～8/2	〃
20	中学校教科指導 外国語(英語)科講座	語法の指導と実際	8/1～8/2	〃
21	小学校国語(書写)科 実技講習会	毛筆を使用する題材の教材研究と実技	8/7～8/8	小学校4年学級担任及び専科
22	小学校理科 実験実技講習会	低学年の教材についての実験実技	8/9～8/10	小学校1,2年学級担任及び専科
23	小学校音楽科 実技講習会	中学年教材の表現・鑑賞についての実技	8/3～8/4	小学校3,4年学級担任及び専科
24	小学校図画工作科 実技講習会	高学年の教材に即した木版画の実技	8/7～8/8	小学校5,6年学級担任及び専科
25	小学校家庭科実技講習会	第5学年教材の食物領域についての実技	8/9～8/10	小学校5年学級担任及び専科
26	中学校理科 実験実技講習会	磯の生物採集と標本作製についての実技	8/7～8/8	中学校担当教員
27	中学校美術科実技講習会	デザイン領域における理論と実技	8/20～8/21	〃

講座番号	講座名	内 容	実施期日	対 象
28	中学校技術・家庭科 (男子向)実技講習会	木工・金工機械を中心とした安全管理についての理論と実技	8/7~8/8	中学校担当 教員
29	中学校技術・家庭科 (女子向)実技講習会	被服領域の実験・実習を中心とした実技	8/20~8/21	”
30	小学校教育機器 実技講習会 1	OHPの特性とTP教材の作成(基礎)	5/16~5/17	小学校教員
31	” 2	OHPの特性とTP教材の作成(応用)	6/26~6/27	”
32	” 3	VTR操作法と教材作成技法	10/25~10/26	”
33	” 4	スライド・映画教材の活用	12/5~12/6	”
34	” 5	反応分析装置の活用	2/13~2/14	”
35	中・高等学校教育機器 実技講習会 1	OHPの特性とTP教材の作成(基礎)	5/21~5/22	中・高等学校 教員
36	” 2	OHPの特性とTP教材の作成(応用)	6/28~6/29	”
37	” 3	VTR操作法と教材作成法	10/22~10/23	”
38	” 4	スライド・映画教材の活用	11/29~11/30	”
39	” 5	反応分析装置の活用	2/6~2/7	”
40	管理職研修講座 1	学校経営上の諸問題	5/22	小・中・高等 学校長 幼稚園長
41	” 2	学校経営上の諸問題	6/25	小・中・高等 学校教頭
42	小学校国語科 教育研究講座 I~V	国語科の基本的事項の究明と 学習過程の構成(中・高学年)	5/14,6/6,9/6 10/31,2/18	小学校教員
43	小学校社会科 教育研究講座 I~V	地域の教材化と地域学習における 授業構成	5/14,6/6,9/6 10/31,2/18	”
44	小学校算数科 教育研究講座 I~V	基礎的な知識、技能を身につける 学習指導法	5/14,6/6,9/6 10/31,2/18	”
45	小学校理科 教育研究講座 I~V	観察・実験の工夫と授業研究 (物質とエネルギー領域)	5/14,6/6,9/6 10/31,2/18	”
46	中・高等学校国語科 教育研究講座 I~V	国語科における学習過程の構成	5/18,6/12,9/12 11/19,1/25	中・高等学校 担当教員
47	中・高等学校社会科 教育研究講座 I~V	社会科における学習過程の構成	5/18,6/12,9/12 11/19,1/25	”
48	中・高等学校数学科 教育研究講座 I~V	基礎的な概念や原理・法則の理解 を深める学習指導法	5/18,6/12,9/12 11/19,1/25	”
49	中・高等学校理科 教育研究講座 I~V	観察・実験の工夫と授業研究 (化学領域)	5/18,6/12,9/12 11/19,1/25	”
50	中・高等学校外国語 (英語)科教育研究講座 I~V	言語活動における3領域の 効果的な指導	5/18,6/12,9/12 11/19,1/25	”
51	幼稚園教育研究講座 I~V	幼児の成長に応じた望ましい経験 や活動のさせ方	5/28,6/26,9/17 11/28,2/28	幼稚園教員
52	社会教育研究講座 I~Ⅳ	生涯教育の視点に立った社会教育	5/30,7/12,10/17 1/28	社会教育関係 職員
53	教育経営研究講座 I~V	家庭,学校,社会教育のかかえる 諸問題の実践的解明	5/29,7/4,9/19 12/4,2/25	小・中・高・幼教員 社会教育関係職員
54	平和教育研究講座 I~V	国際平和文化都市としての 広島の平和教育	5/23,6/18,9/4 11/26,2/5	小・中・高・幼教員 社会教育関係職員

教育関係資料の収集・整理状況並びに活用について

教育センターの事業の一つとして教育関係資料の収集および活用に関する事業がある。

教育関係図書および教育実践，教育研究に役立つ資料を収集・整理し，センターで行われる研究・研修の深化，発展に活用するとともに，広く教育関係者の利用に供し，個人研究の推進に資することを目的とし，さらに効果的な活用を図るため，教育関係資料の目録を刊行するとともに，研究成果等の普及に努める事業を行っている。

図書の収集については，教育センター開所以来，5か年にわたる図書整備計画をたて，事業の目的に沿い，基本図書，新刊書，教育雑誌等を購入，整理しつつある。現在，教育関係図書を中心に2,840冊余を所蔵・配架し，室内閲覧はもちろん，備品図書を除いて貸出しを行っている。

教育資料の収集は開所直後であることから十分とはいえず，現在300点余が分類配架されているにすぎない。教育資料の収集・整理は昭和54年度以降重点的に努力し，充実させる予定である。

教育関係者の積極的な利用を望んでいる。

分類別蔵書冊数（54.4.1現在）

分 類	冊 数
0 総 記	308冊
1 哲 学	29冊
2 歴 史	45冊
3 社会科学	110冊
37 教 育	1,728冊
4 自然科学	229冊
5 工学・技術	32冊
6 産 業	15冊
7 芸 術	98冊
8 語 学	138冊
9 文 学	108冊
計	2,840冊



広島市教育センターの図書・資料利用について

図書資料室は教育関係図書及び教育資料を収集・整備し，教育の調査研究，研修に活用するとともに，教育関係者の個人研究の利用に供する事業を行っています。

1 開室時間

平日は13:00～16:30

土曜日は9:00～11:30

2 休室日

日曜日，祝日のほか，8月6日，年末年始の休日及び別に定める図書・資料整理日とします。

3 閲 覧

(1) 図書・資料は閲覧簿に記入の後，所定の場所で自由に閲覧できます。なお図書は日本十進分類法により，また教育資料は都道府県指定都市教育研究所長協議会の教育関係資料分類基準に準拠して分類配架されています。

(2) 閲覧後は必ず元の書架に配架してください。

4 貸出し

(1) 図書・資料は1人3冊以内，2週間以内貸出します。

(2) 図書・資料の貸出しを受けるときは，係員に申し出て貸出簿に所定事項を記入し，確認を受けてください。

(3) 借り出した図書・資料は所定の期日までに直接返却してください。

備考 その他図書・資料についての質問，相談に応じます。

蔵書紹介〔教育一般 教育学（抄）〕

◆教育一般◆

新教育用語事典 教育調査研究所編 教育出版
統学校教育全書 全8巻 芦沢忠ほか編 全教図
教育工学原論 ラムズデンほか編 学習研究社
教育経営事典 全5巻 ぎょうせい
皇至道著作集 全5巻 皇至道著 第一法規
人間性を培う教育 ブラウン 日本文化科学社
現代教育用語辞典 天城勲ほか編 第一法規
講座日本の教育 全12巻
 堀尾輝久ほか著 新日本出版社
教育原理 教師養成研究会編 学芸図書
現代教育講座全10巻 上田薫ほか編 第一法規
教育原理要論 小宮山倭著 日本文化科学社
現代教科教育学大系 全12巻
 木原健太郎ほか編 第一法規
教育学研究全集 全14巻
 大浦猛ほか編 第一法規
教育の名著 全12巻 下田次郎ほか著
 玉川大学出版部
教育学全集 増補版 全15巻

海後宗臣ほか編 小学館
現代社会における教育工学 坂元昂 大日本図書
学力論 広岡亮蔵著 明治図書
家庭の教育 全4巻 勝田守一著 岩波書店
教師ハンドブック 諸沢正道監修 ぎょうせい
日本教育年鑑 '79
 日本教育年鑑刊行委員会編 ぎょうせい
東井義雄著作集 別巻全3巻 明治図書

◆教育学◆

世界教育学選書 全84巻 明治図書
教育相談事典 桂広介ほか編 金子書房
教育と教育学 勝田守一著 岩波書店
教育評価法総説 橋本重治著 金子書房
教育評価事典 鈴木清ほか編 第一法規
新教育評価法総説上下 橋本重治著 金子書房
教育研究のための調査票の設計と事例
 藤原藤祐著 ぎょうせい

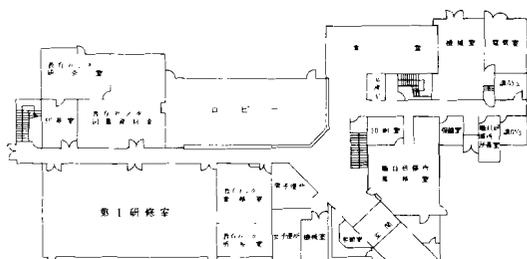
教育統計法詳説全3巻 金井達蔵著 図書文化
児童学ハンドブック 飯島篤信ほか編 朝倉書店
集団主義教育の批判 片岡徳雄著 黎明書房
教育統計法入門 四方実一著 日本文化科学社
学習心理学ハンドブック 東洋ほか編 金子書房
学習心理学総説 辰野千寿著 金子書房
児童心理学ハンドブック
 波多野完治ほか編 金子書房
心理学と教育実践 波多野完治著 金子書房
教育心理学新辞典 牛島義友ほか編 金子書房
児童臨床心理学事典
 内山喜久雄ほか編 岩崎学術出版
最新教育評価法全書 中学校編 図書文化
教育学大事典全6巻 細谷俊夫ほか編 第一法規
資料解説教育原理 教師養成研究会 学芸図書
未来の学習ユネスコ教育開発国際委 第一法規
現代教育評価講座 全7巻
 梶田叡一ほか著 第一法規
児童学事典 松村康平ほか著 光生館
幼児の臨床心理学事典

品川不二郎ほか著 あすなろ書房
乳幼児の心理学 ゲゼル著 家政教育社
児童心理学の進歩 藤永保ほか編 金子書房
児童集団心理学 田中熊次郎著 明治図書
青年の心理学 ゲゼル著 家政教育社
新教育心理学事典 依田新監修 金子書房
発達心理学総説 上武正二著 金子書房
心像の発達心理学 ピアジェほか著 国土社
学童の心理学 ゲゼル著 家政教育社
要求水準の研究 関計夫編 金子書房
ブロンソン・オルコットの教育思想
 宇佐美寛著 風間書房
現代青年の人格形成 依田新編 金子書房
問題解決の心理学 辰野千寿著 金子書房
教育における評価の理論 梶田叡一著 金子書房
現代教育の思想と構造 堀尾輝久著 岩波書店
学習心理学 学習心理研究グループ 川島書店
カウンセリング 伊藤博著 誠信書房

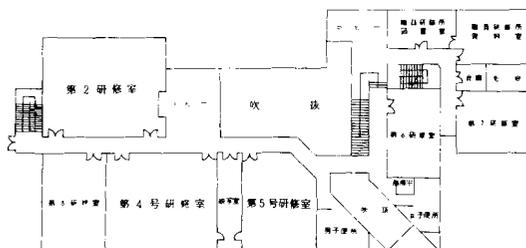
教育センター平面図及び案内図

建物の平面図

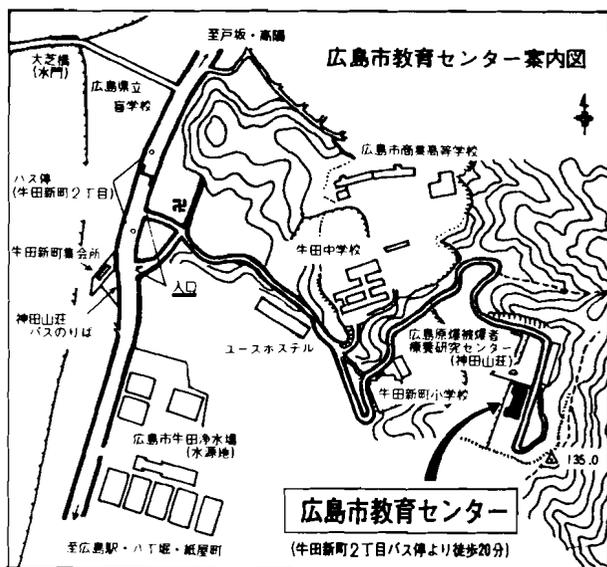
1階



2階



案内図



交通機関

1 バス

下記のバスを利用される場合は、いずれも牛田新町二丁目下車してください。

- (1) バスセンターから (2番乗車口)
工兵橋経由 中深川, 高陽A団地又はB団地行

<広島交通, 国鉄バス, 広島バス>

- (2) 広島駅から (広島駅前 ダイエー西) 可部, 中深川, 高陽A団地, 高陽B団地又は千足行

<広島交通, 国鉄バス>

- (3) 八丁堀から (八丁堀バス停) 戸坂行 (戸坂~仁保線)

<広島電鉄>

※左の案内図の「神田山荘バスのりば」から神田山荘マイクロバスがありますので空席があればご利用ください。

2 自家用車

駐車場はあります。

なお、途中見通しのよくない箇所があり、その上通学路にもなっていますので、交通安全に気をつけてください。

編集後記

所報創刊号は、教育センターの内容をご理解いただき、先生方との共通基盤の確立を図る意図で編集しました▲教育関係職員に強く望まれる研究と修養の機会を積極的に設定します。先生の本年度の研究・研修計画の中にぜひ織り込んでください▲教育は、児童生徒や市民の尊敬と信頼に支えられる面が強いので、自らの人間性と専門性をたえず磨き高める営みが必要です。しなければならないこ

と、したほうがよいことを、たゆみなく、へこたれず、油断なくやり通す。この積年の努力こそ教育力であるといえないでしょうか▲教育への期待は大きい。それに直接にかかわる者として、ともに力を合わせ、広島市の教育の向上に尽くす喜びをかみしめたいと思います▲この所報は、本年度、3号までお届けする計画です▲ここ神田山は、日増しに緑の濃さが増しています。うぐいすの声もしきりです。